

第 17 回情報システム学会 全国大会・研究発表大会 開催報告

実行委員長 森本祥一（専修大学）

12 月 11 日、専修大学神田キャンパス 10 号館（140 年記念館）において、第 17 回全国大会・研究発表大会が開催されました。大会の統一テーマを「日本のデジタル変革のゆくえ - 人にやさしい情報システムとそれを支える人材育成」と題し、2019 年度の第 15 回大会以来となる対面での開催となりました。

基調講演では、2 件のご講演を頂きました。1 件目は、2021 年 9 月に発足したデジタル庁の村上敬亮氏をお招きし、「デジタル庁の取組と政策—これからの日本」という演題でご講演頂きました。2 件目は、東京都が設置し、主に DX 時代の社会人を対象とした学び直しのための実践的な教育プログラムを提供する専門職大学院である産業技術大学院大学教授の三好きよみ氏に、「自ら主体的にキャリアを形成していくことの重要性と、IT 人材の学び直しの状況について」という演題でご講演を頂きました。基調講演後、第 6 回浦昭二記念賞実績賞を受賞した株式会社ブロード（代表姫野恵悟氏）の表彰が行われました。

午前・午後の研究発表セッションでは、ショート 18 件、ロング 12 件の発表が行われ、活発な議論が展開されました。研究発表セッション終了後の情報交換会においては、16 件のポスター発表が行われ、最後まで活発な意見交換が行われました。当日は 106 名の参加があり、2 年ぶりとなった現地開催大会は、盛況のうちに閉会致しました。

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるった 2021 年 8 月時点では、対面での現地開催が危ぶまれていましたが、大会関係者、参加者、ご後援、協賛頂いた企業・団体の皆様のご協力により、無事滞りなく開催できましたことに感謝致します。